

件 名	職員採用試験の面接官について
受付日	令和7年8月18日
ご意見・ご提案 の概要	県の職員採用試験を受験したが、一般企業に就職することに決めた。一般企業に就職を決めた理由として、若手のOBによる面接があり、若い人に任せている会社と思えたが、県の採用試験は管理職と思われる年配の方による面接であり、経験があることを理由にそのようにしているのであれば、古いのではないか。面接も定型的な質問ばかりで、面接官は人事のプロという感じはなく、学生の本質を見抜けているのだろうか。 年配の面接官は近い将来退職することを思えば、若手が面接を行い、一緒に働きたい人を探す方法をとるのはどうか。
県の考え方	県の職員採用試験を受験いただきありがとうございます。 県職員採用試験における面接では、若手職員が面接官を担っている場合もございますが、面接の印象は、受験者の皆さんが就職を検討されるうえで、大切な要素の一つであると認識しております。 県において若手職員が様々な分野で活躍していることを多くの方に伝えられるよう、これからも情報発信に努めるとともに、今回いただいたご意見も参考にしながら、面接の手法も含めた試験制度の見直しを引き続き行ってまいります。
担当課	人事委員会事務局 職員課